

新築検査 施工状況検査日報

令和5年1月5日



(株)日本建築検査研究所

報告書作成:一級建築士 佐藤 並人

物件名 : 梅田町賃貸集合住宅新築工事

検査の種類 : 地盤改良試験施工の立会い確認、他

検査箇所 : 地盤改良No2箇所、地盤改良プラント配置箇所、他

現場立会い者 : 植木組・同時建設特定建設工事共同体、針生承一建築研究所、他

確認・指摘事項

<確認事項>

1. 建物配置状況の確認。
2. GL設定状況の確認。
3. No2箇所の地盤改良範囲の確認。
4. No2箇所の地盤改良支持地盤面の確認。
5. キャリブレーション施工内容の確認
 - ・バケット形状の確認
 - ・深度計(距離計)の確認
 - ・固化材計量器の確認。
 - ・流量計の確認。
 - ・混合攪拌状況の確認。
6. No2箇所の地盤改良天端レベルの確認。(天端処理部分を含む)

対応

- ・ 地盤改良工事に関する内容に関しては、特に問題が無いことを確認した。
- ・ 地盤改良工事報告書の提出を依頼。(施工後)

備考等

- ・ 地盤改良支持地盤面の土質に疑義が生じるような場合は、必ず工事監理者、及び、構造設計者の判断を仰ぐことを確認した。

現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景



令和5年1月5日	
NO	2
場所	敷地
部位	全景



令和5年1月5日	
NO	3
場所	敷地
部位	出入口

近隣対策として振動・騒音計が設置されたことを確認。



現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	4
場所	建物配置
部位	敷地境界（南東角部）

敷地南東角部に設置されている敷地境界（金属標）の状況を確認。道路側に関しては縁石端部より約10mm内側であることを確認。




令和5年1月5日	
NO	5
場所	建物配置
部位	DX5, DY1（芯位置）

上記敷地境界（金属標）より西側4,229mの位置（マーキング）を確認。




令和5年1月5日	
NO	6
場所	建物配置
部位	DX5, DY1（芯位置）

DX5, DY1の芯位置は、上記の縁石端部（約10mm）より約4,645mm程度の位置 \pm 4,635mmであることを確認。∴計画通りに建物が配置されている状況であると判断ができる。




現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	7
場所	建物配置
部位	DX5, DY1 (芯位置)

同上。CD棟南東角部(芯位置)を他方向からも確認。



令和5年1月5日	
NO	8
場所	建物配置
部位	DX5, DY1 (芯位置)

敷地境界(金属標)より北側5,432mmの位置(マーキング)を確認。



令和5年1月5日	
NO	9
場所	建物配置
部位	DX5, DY1 (芯位置)

敷地の東側擁壁は境界杭より約20mm程度東側に位置していることを確認。



現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	10
場所	建物配置
部位	DX5, DY1 (芯位置)

敷地の東側擁壁(約20mm)の位置からの確認状況。尚、正確な追い出しは、トランシットなどを用いて施工者によって事前に行われていることを付言する。



令和5年1月5日	
NO	11
場所	建物配置
部位	DX5, DY1 (芯位置)

同上。DX5, DY1の芯位置は、東側擁壁のマーキング位置(約20mm)より約3,592mm≒3,572mmであることを確認。∴計画通りに建物が配置されている状況であると判断ができる。



令和5年1月5日	
NO	12
場所	建物配置
部位	BX1, BY1 (芯位置)

敷地南側(BX1付近)に設置されている敷地境界位置より北側2,650mmの位置(マーキング)を確認。



現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	13
場所	建物配置
部位	BX1, BY1 (芯位置)
BX1, BY1の芯位置は、上記のマーキング位置より東側へ1,800mmの位置であることを確認。∴計画通りに建物が配置されている状況であると判断ができる。	
	



令和5年1月5日	
NO	14
場所	敷地北側
部位	高度斜線検討用離隔距離
北側隣地境界線より490mmの離隔距離(真北方向)が計画通りに確保されていることを確認。	
	



令和5年1月5日	
NO	15
場所	敷地北側
部位	高度斜線検討用離隔距離
同上。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	16
場所	GL (FL) 設定
部位	BM

BM (ベンチマーク) の位置を確認。




令和5年1月5日	
NO	17
場所	GL (FL) 設定
部位	BM

オートレベルによって、BM (TP 42.497m) よりFL (Z1=TP42.0 m) の位置 (BM-497mmの位置) が計画通りに設定されていることを確認。




令和5年1月5日	
NO	18
場所	GL (FL) 設定
部位	マーキング

FLの高さが、計画通りにBM-497mmの位置として施工管理されていることを確認。




現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	19
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション
バックホー（1台目）のバケット形状の確認状況。バケット幅が計画通りの寸法（1,100mm）であることを確認。	



令和5年1月5日	
NO	20
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション
バックホー（1台目）のバケット形状の確認状況。バケット長さが計画通りの寸法（1,230mm）であることを確認。	



令和5年1月5日	
NO	21
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション
バックホー（1台目）のバケット形状の確認状況。バケット深さが計画通りの寸法（725mm）であることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	22
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション
バックホー（2台目）のバケット形状の確認状況。バケット幅が計画通りの寸法（1,100mm）であることを確認。	




令和5年1月5日	
NO	23
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション
バックホー（2台目）のバケット形状の確認状況。バケット長さが計画通りの寸法（1,230mm）であることを確認。	



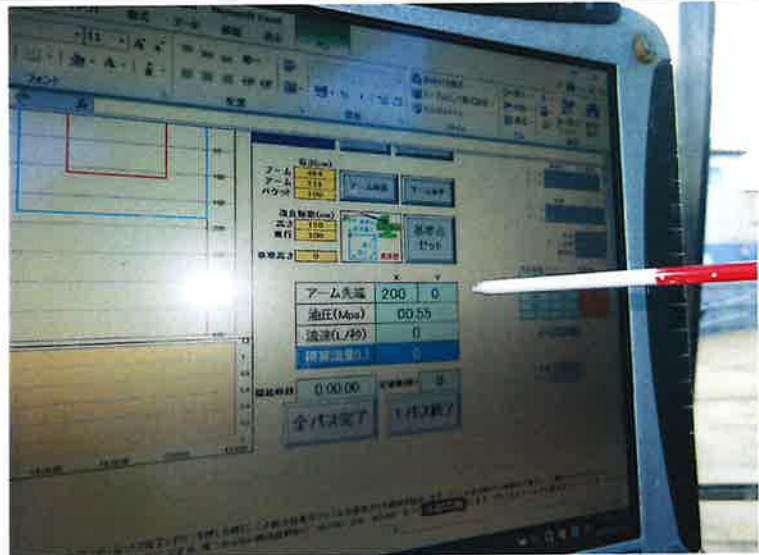

令和5年1月5日	
NO	24
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション
バックホー（2台目）のバケット形状の確認状況。バケット深さが計画通りの寸法（725mm）であることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	28
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（1台目）の深度計（距離計）の確認状況。基準点（地盤面より+2m地点）の計測器を確認。（Y座標：0mm）

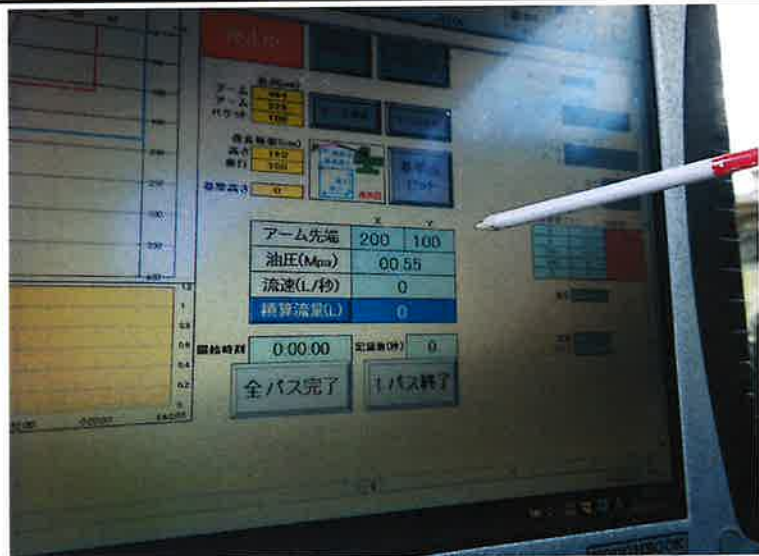
令和5年1月5日	
NO	29
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（1台目）の深度計（距離計）の確認状況。基準点（地盤面より+1m地点）の計測器を確認。（Y座標：1,000mm）




令和5年1月5日	
NO	30
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

同上。測定値：±25mm以内の範囲（許容値）であることを確認。

現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	31
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（2台目）の深度計（距離計）の確認状況。基準点（±0地点）の計測器を確認。（X座標：3000mm）



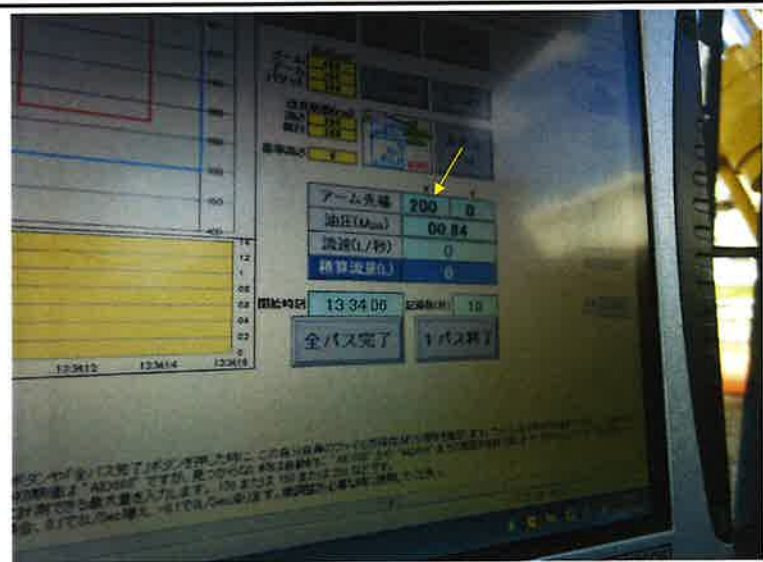

令和5年1月5日	
NO	32
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

同上。基準点（±0地点）の計測器を確認。（X座標：3000mm）




令和5年1月5日	
NO	33
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（2台目）の深度計（距離計）の確認状況。基準点より1,000m地点（手前）の計測器を確認。（X座標：2,000mm）

現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	34
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（2台目）の深度計（距離計）の確認状況。基準点（地盤面より+2m地点）の計測器を確認。（Y座標：0mm）




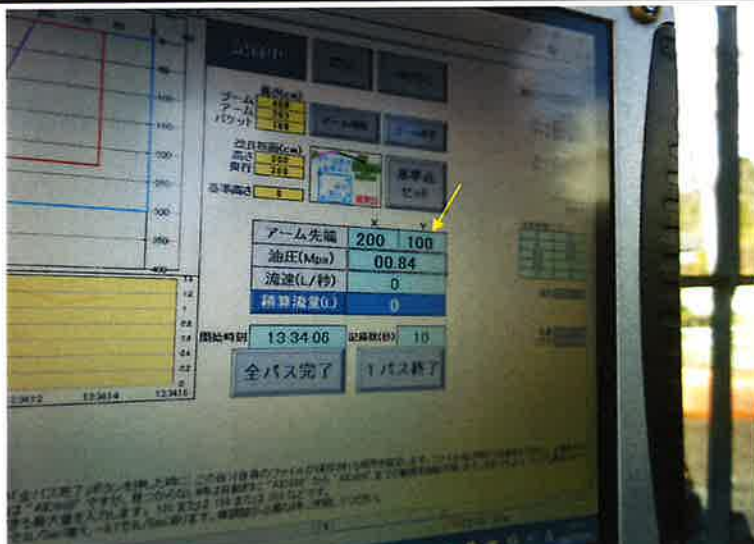

令和5年1月5日	
NO	35
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

同上。測定値：±25mm以内の範囲（許容値）であることを確認。




令和5年1月5日	
NO	36
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（2台目）の深度計（距離計）の確認状況。基準点（地盤面より+1m地点）の計測器を確認。（Y座標：1,000mm）

現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日	
NO	37
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション
固化材計量器の確認状況。検量ウエイト無し(±0)の表示状態を確認。	




令和5年1月5日	
NO	38
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション
固化材計量器の確認状況。検量ウエイト25kg×4個の準備状態を確認。	




令和5年1月5日	
NO	39
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション
固化材計量器の確認状況。検量ウエイト25kg×4個の載荷状況を確認。	




現況検査により認められる状況の記録


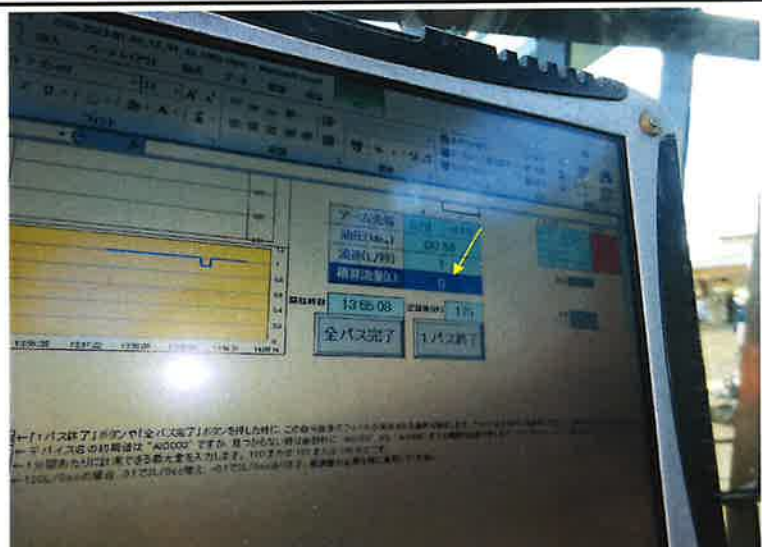
令和5年1月5日	
NO	40
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

固化材計量器の確認状況。検量ウエイト 25kg × 4個の載荷状況に対し、計量器の表示が100kgとなっていることを確認。




令和5年1月5日	
NO	41
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（1台目）の流量計の確認状況。計測前±0時点の状態を確認

令和5年1月5日	
NO	42
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

ミキシングプラント側の計量器の確認状況。計測前±0時点の状態を確認




現況検査により認められる状況の記録


令和5年1月5日	
NO	43
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

試験水の吐出状況を確認。




令和5年1月5日	
NO	44
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

ミキシングプラント側の計量器の表示103kg(ℓ)にて試験水の吐出を停止。




令和5年1月5日	
NO	45
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（1台目）の流量計の確認状況。積算流量の表示が101ℓとなっており、計算値±2.0ℓの誤差範囲（許容値）以内であることを確認。（OK）




現況検査により認められる状況の記録

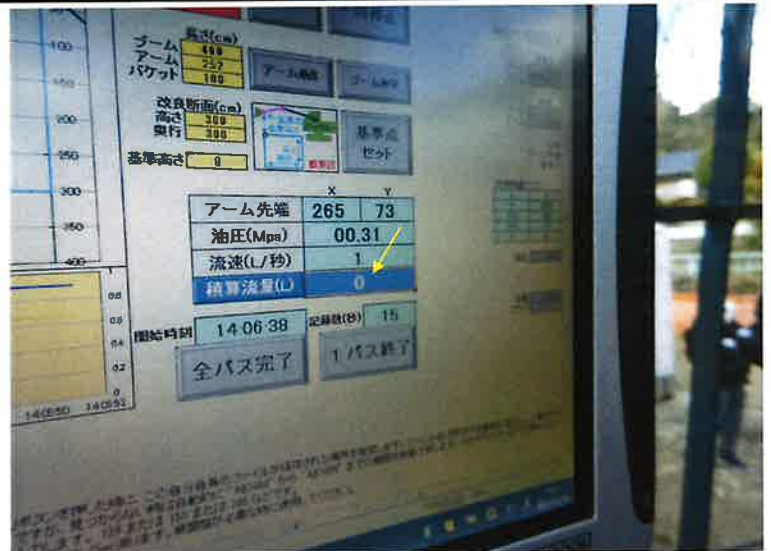
令和5年1月5日	
NO	46
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（2台目）の流量計の確認。
ミキシングプラント側の計量器の確認状況。計測前±0時点の状態を確認




令和5年1月5日	
NO	47
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（2台目）の流量計の確認状況。計測前±0時点の状態を確認

令和5年1月5日	
NO	48
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

試験水の吐出状況を確認。




現況検査により認められる状況の記録

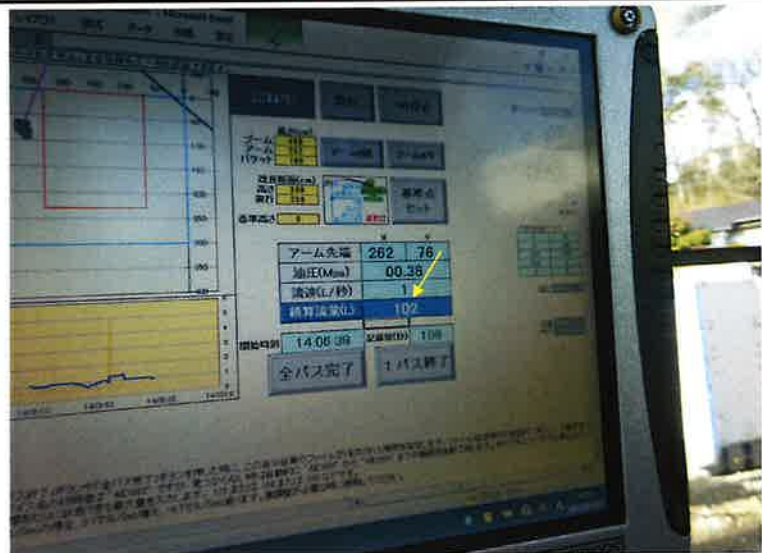
令和5年1月5日	
NO	49
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

ミキシングプラント側の計量器の表示100kg(ℓ)にて試験水の吐出を停止。



令和5年1月5日	
NO	50
場所	地盤改良
部位	キャリブレーション

バックホー（2台目）の流量計の確認状況。積算流量の表示が102ℓとなっており、計算値±2.0ℓの誤差範囲（許容値）以内であることを確認。（OK）



令和5年1月5日	
NO	51
場所	地盤改良
部位	N○2箇所

地盤改良区画割付N○2箇所の墨出し状況を確認。



現況検査により認められる状況の記録

令和5年1月5日

NO 52

場所 地盤改良

部位 No 2 箇所

改良範囲の確認状況。改良幅の寸法は計画通り（フーチング幅：600mm+余長250mm×左右=1,100mm）とされていることを確認。



令和5年1月5日

NO 53

場所 地盤改良

部位 No 2 箇所

改良範囲の確認状況。No 2 箇所の改良長さは、地盤改良計画図の内容（3,500m）の通りであることを確認。



令和5年1月5日

NO 54

場所 地盤改良

部位 No 2 箇所

バックホーによる掘削の状況。



現況検査により認められる状況の記録


令和5年1月5日	
NO	55
場所	地盤改良
部位	No 2 箇所

支持地盤面の確認状況。基礎底盤下面一約1,950mm付近の支持地盤層の状況。




令和5年1月5日	
NO	56
場所	地盤改良
部位	No 2 箇所

ボーリングデータの通り、支持地盤となる粗粒～中粒砂岩層（灰色に見える層）が露出していることを確認。




令和5年1月5日	
NO	57
場所	地盤改良
部位	No 2 箇所

ボーリング試験時のサンプル（試料）との比較状況。




現況検査により認められる状況の記録

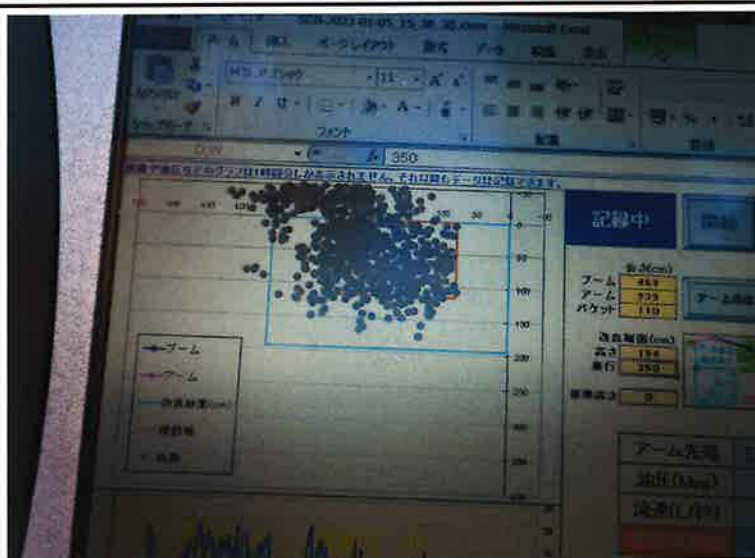
令和5年1月5日	
NO	58
場所	地盤改良
部位	No 2 箇所

セメント固化材のスラリー注入、及び攪拌混合作業の状況。




令和5年1月5日	
NO	59
場所	地盤改良
部位	No 2 箇所

改良範囲（赤枠線内）が全般的に攪拌混合されていることを確認。また、ミキシングバケットの駆動油圧の低下（一定）によって攪拌混合が行われていることをモニターにて確認。

令和5年1月5日	
NO	60
場所	地盤改良
部位	No 2 箇所

改良体天端高さの確認状況。天端処理を行う+50mm程度の余盛が確保されていることを確認。